



# GILFOAM<sup>ギルフォーム</sup>

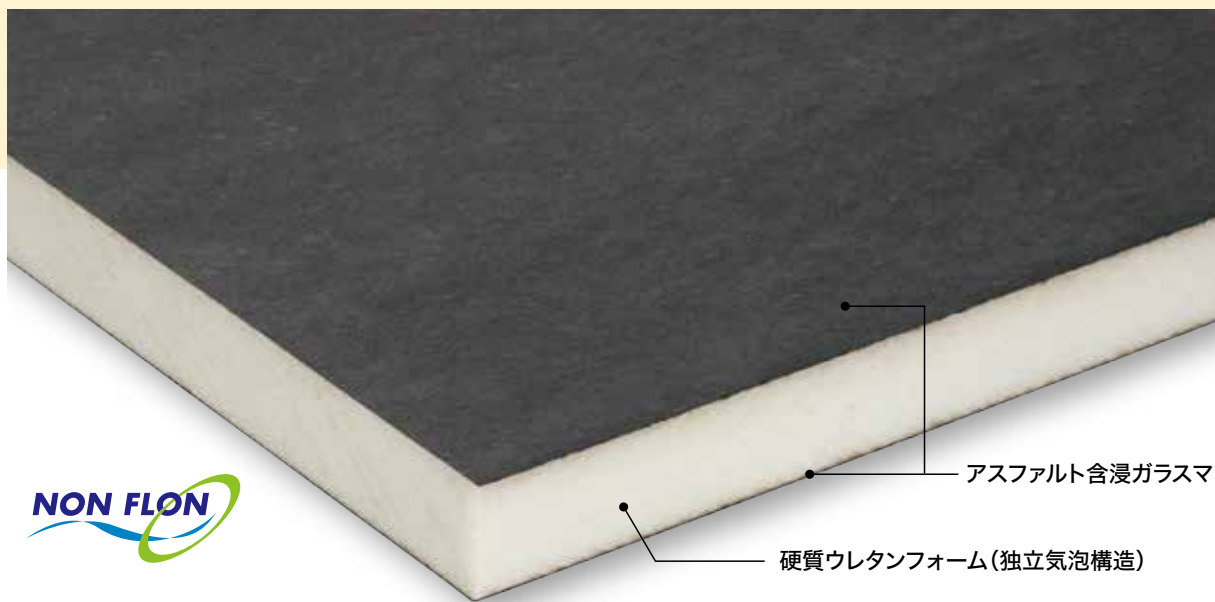
硬質ウレタンフォーム 断熱材

# GILFOAM

—ギルフォーム—

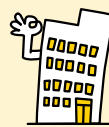
## 屋上外断熱防水工法を支える高性能断熱材

快適な居住環境を維持するため、今や屋上防水施工時に欠かせない材料とも言える断熱材。ギルフォームは、露出工法用防水材と組み合わせて施工することを前提に開発された、硬質ウレタンフォーム断熱材です。



### ギルフォームの特長

- 1 熱伝導率がきわめて低く、断熱性能に優れています。
- 2 耐熱性に優れており、約270°Cの溶融アスファルトに接しても二次発泡しません。
- 3 寸法安定性が良く、圧縮強度に優れています。
- 4 オゾン破壊係数ゼロの炭化水素系発泡剤を採用した、完全ノンフロン断熱材です。



### ギルフォームの用途

各種外断熱防水工法(アスファルト防水熱工法、改質アスファルトシート防水常温粘着工法、トーチ工法、ウレタン塗膜防水)用の断熱材

## 規格

| 規格          | 品名 | ギルフォームS                   | ギルフォームW*                |
|-------------|----|---------------------------|-------------------------|
| 寸法(mm)      |    | 605×910                   | 900×1,200               |
| 厚さ(mm)      |    | 25,30,35,40,50,60,70*,75* | 25,30,35,40,50,60,70,75 |
| 熱伝導率(W/m・K) |    | 0.023                     |                         |

\*受注生産品



ギルフォーム施工例

## 日本産業規格(JIS)区分

JIS A 9521硬質ウレタンフォーム断熱材3種1号の規格、およびJIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板3種1号の規格に適合。ならびに、JIS A 9521硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号または2号、および JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号または2号で、透湿係数を除く規格に適合。

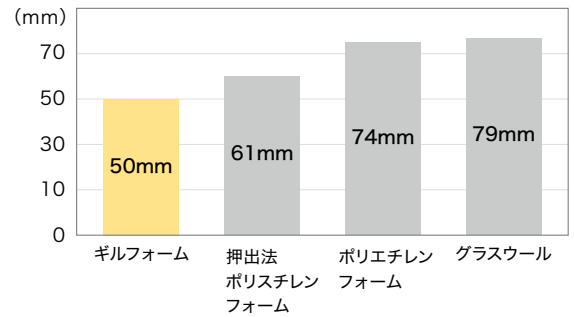
## 他種断熱材との断熱性能比較

断熱性能は熱伝導率で判断することができます。ギルフォームの熱伝導率は建材用断熱材の中でも特に低く、同じ断熱性能を得る場合、他の断熱材より薄くすることができます。

### 断熱材の種類と熱伝導率の比較

| 種類                 | 特性 | 熱伝導率       | 密度                     |
|--------------------|----|------------|------------------------|
| 硬質ウレタンフォーム(ギルフォーム) |    | 0.023W/m・K | 35kg/m <sup>3</sup> 以上 |
| 押出法ポリスチレンフォーム      |    | 0.028W/m・K | 25kg/m <sup>3</sup> 以上 |
| ポリエチレンフォーム         |    | 0.034W/m・K | 10kg/m <sup>3</sup> 以上 |
| グラスウール             |    | 0.036W/m・K | 約32kg/m <sup>3</sup>   |

### ギルフォーム50mmと同じ性能を得るために必要な他の断熱材の厚さ



## 環境への影響度について

ギルフォームのオゾン層破壊係数(ODP) ▶ 0 ※ODP:トリクロロフルオロメタン(CFC-11)を1.0とした場合のオゾン破壊能力の相対値。  
 ギルフォームの地球温暖化係数(GWP) ▶ 11 ※GWP:CO<sub>2</sub>を1.0とした場合の温暖化影響度を表す係数。

## 住宅の省エネルギー基準について

住宅の省エネルギー基準とは、国土交通省が定めたエネルギーロスが少なくCO<sub>2</sub>の排出量を軽減でき、快適に住むことのできる住宅性能の目安です。

### 住宅の省エネルギーに基づく断熱材の厚さ(鉄筋コンクリート造建物) ※鉄骨造または木造外張断熱工法は(赤字)で表記

| 都道府県名※1   | 地域区分 | 建築物省エネ基準<br>国土交通省告示第784号 2019年(令和元年)      |            |          |
|---|------|---|------------|----------|
|   |      | 断熱材の熱抵抗値<br>【屋根】<br>(m <sup>2</sup> ・K/W) | 断熱材の厚さ(mm) |          |
|   |      |   | 断熱材種類E※2   | ギルフォーム※3 |
| 北海道   | 1・2  | 3.0(5.7)                                  | 85(160)    | 70(135)  |
| 青森県・岩手県・秋田県   | 3    | 2.2(4.0)                                  | 65(115)    | 60(95)   |
| 宮城県・山形県・福島県・新潟県・長野県・栃木県   | 4    | 2.0(4.0)                                  | 60(115)    | 50(95)   |
| 茨城県・群馬県・山梨県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・滋賀県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・三重県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県 | 5・6  | 2.0(4.0)                                  | 60(115)    | 50(95)   |
| 宮崎県・鹿児島県  | 7    | 2.0(4.0)                                  | 60(115)    | 50(95)   |
| 沖縄県   | 8    | 0.57(0.78)                                | 15(25)     | 25(25)   |

※1 市町村によっては他の地域に区分されることがあります。

※2 (財)住宅建築省エネルギー機構「住宅の次世代省エネルギー基準と指針」で区別されている断熱材の種類(硬質ウレタンフォーム)での厚み。

※3 ギルフォームの熱抵抗値から計算した厚み。

※省エネ基準の適合判断以外に適用することはできません。

**田島ルーフィング株式会社**  
<https://tajima.jp>

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1  
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5  
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6  
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35  
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8  
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1  
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113  
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20  
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29  
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16  
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17  
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10  
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35  
TEL 092-724-8111